

## 国立大学法人 豊橋技術科学大学 産学官連携ポリシー

### 1. 産学官連携の理念と方針

豊橋技術科学大学は科学に裏付けられた技術、すなわち技術科学の教育・研究を使命とし、実践的・創造的な能力を備えた指導的技術者の養成をめざした教育と、技術科学の新しい地平を切り拓くことをめざした研究を推進する。建学の主意には「本学は学外機関との交流、民間企業等との共同研究・受託研究あるいは地域社会との協力事業を推進するとともに、研究成果の社会還元を促進・充実するなど開かれた大学としての活動を積極的に行う」と記されている。このような本学の設立の目的と理念は、本学の産学官連携の理念でもある。本学は教育と研究の成果を産学官の連携を通じて社会が求める産業、生活、文化、福祉などの向上を推進するものである。

研究成果は論文等を通じて発表し、世界の学術の進歩に貢献するとともに、産業界との共同研究、産学官の研究開発事業、技術移転等に活用し、産業的な貢献をめざす。研究の活性化と社会貢献の拡大をめざす知的創造サイクルを大学をあげて推進する。こうした産学官連携の活動は、翻って本学の研究と教育の活性化に再び資するものとなる。

### 2. 産学官連携の推進の方策

- 1) 研究シーズと産業界の技術ニーズのマッチングを心がけ、革新的な研究成果を社会に提供する。
- 2) 産学官の共同研究や研究開発プロジェクトを積極的に立ち上げ、社会貢献に結びつく技術や事業を生み出す。
- 3) 研究成果に基づく大学発ベンチャーを育成支援し、新たな事業の創出を推進する。
- 4) セミナー、講演会等を開催し、地域の産業、生活、文化、福祉等への希求に積極的に応える。
- 5) 産業界における実務訓練（インターンシップ）を正課として実践的技術者教育を行う。
- 6) 国際的な共同研究、技術協力、技術者教育によって国際貢献を推進する。
- 7) 産学官連携の全学的な推進体制を構築するとともに、産業界との連携や技術移転を効果的に推進する施策を講じる。
- 8) 透明性の高い産学官連携活動を推進し、社会に対する説明責任を果たす。